



齋藤事務所のIT通信

動画の画面は縦が主流になるか

福島県桑折町を拠点にITコンサルタントをしています齋藤慎也です。今回は、動画の配信をする際に縦画面が主流になっていく可能性があることを書きたいと思います。

動画の縦画面が出てきたのは、スマートフォンの普及が大きいです。特にInstagramやTikTokは縦画面で閲覧するケースが多く、配信する側も縦画面で動画を制作することが必要になってきています。

動画配信で歴史があるのはYouTubeで、パソコンで観ることが多かった場合は基本的には横画面が多いです。そして、現在もショート動画以外の時間の長い動画は引き続き横画面で投稿されることがほとんどです。

そんなYouTubeも、現在はショート動画(最大三分)にも力を入れていて、Instagramなどと同じように縦画面での閲覧・配信となっています。InstagramやTikTokで動画を見慣れている人にとっては、短い時間で動画を観ていくスタイルに慣れていくと思われれます。

特に若い世代、二十代や十代の方々がそういったショート動画の普及が大きいでしょう。YouTubeは十代のショート動画時間を保護者が制限することができる機能も追加されているほどです。私も経験があります。ショート動画を次々に観ていくことで、かなり時間を使っていることがありました。

映画などを配信するNetflixは、今年に入ってから、縦型の動画配信を拡充していく計画があると発表しました。すでに縦型で配信されているコンテンツも増やして配信していくとのこと

YouTubeもInstagramもTikTokも、個人で発信できる動画配信ツールです。また、企業や店舗などのPRでも利用できるツールでもあります。縦動画をどのように生かしていくのか、今年もさらに検討が必要になっていくと考えられます。

(ITコンサルタント 齋藤事務所代表 齋藤慎也)

おの設計の住まいとまちづくり「コラム」

間取りの「セカンドオピニオン」という選択肢

皆さんは「Threads (スレッド)」というSNSをご存じですか？ Instagramと同じメタ社が運営するSNSで、Instagramは画像主体ですが、Threadsは文章主体でコミュニケーションを図るものになっています。

私も最近Threadsを見る機会が増えているのですが、そこでよく目にする投稿が、新築住宅の間取り相談。理想の間取りを追い求めて自分でイチから考えている方もいますが、大半の方は現在打ち合わせ中の状態で、「他の方の意見を聞きたい」「今以上に良いものになりたい」という【セカンドオピニオン】を求めている形です。検討中の間取り画像をSNSに投稿して、それを見た方が様々な意見を寄せてくれる訳ですね。

そんな「間取り迷子」の投稿に、多いときには数十件のアドバイスが返ってきます。全て無料です・・・となると良いことづくめのような気がしてしましますが、気を付けなければいけないこともあります。

一番は、アドバイスをしてくれる中で専門家は僅かです。多くが一般の方だということ。使いやすい動線などを指摘してくれませんが、構造など技術的に難しいことも「良い！」と言っている可能性がある訳です。「ココナラ」など一部のサービスでは、有料ですが専門家によるセカンドオピニオンを受けることも可能です。ご興味のある方は、ぜひご確認ください。(おの建築設計事務所代表 一級建築士小野紀章)



新築住宅の設計・監理

増築・リフォーム対応可

耐震診断等各種調査も

おの建築設計事務所

桑折町字諏訪40-22
☎ 024-582-3004
✉ info@kooi-onosekkei.com



はじめまして！「そらいろデイ」です

人は関係の中で生きています

介護の仕事をしていると「認知症になりやすい人ってどんな人ですか」

と聞かれることがよくある。この質問に対して正解が一つあるというわけではないが、「概ねこんな人がなりやすい」という傾向は長年の経験から言える。それは「現役時代に高い地位についていた人」である。例えば大会社の社長や部長、高級官僚、教授や校長などだ。社会的な地位が高く看板が大きい人ほど定年退職後や脳梗塞などの疾患である日突然、これまでの社会的なつながりが消失すると呆ける。認知症になることが多い。

原因はその人にとっての社会との関係がなくなったことで、自分自身を保てなくなったからだと言える。ここで言う「社会」とは職場だけではない。趣味の仲間との付き合いをはじめ、地域活動やボランティア活動なども含まれる。会社一筋で働いてきた人は特に要注意だ。会社との関係がなくなつた時、これまで自分を支えてきた人たちが去っていく。その時、自分に対する評価は地位や肩書だったことに気づく。つまり社会的評価がゼロになる。会社がすべて

だった人には耐えられないことだと思ふ。

子育てのことなど全部妻に任せて仕事一筋の会社人間は、大抵家族からは嫌われている（と思う）。夜遅く帰宅し「風呂、飯、寝る」では当然でしょう。定年後、何もせずに自宅に籠っている夫に、長年連れ添った妻から三行半が突き付けられる。テレビのドラマのような話しだけれども、あながちないわけではない。

こうして「社会との関係」もなくなり、「家族との関係」もなくなると、あと残っている関係は「自分自身との関係」となる。「財産も地位も名誉も妻も子供もいらねーよ」と啖呵を切って笑って生きていけるのは寅さんぐらいか。大抵の人間はアウト。現実の世界から遊離することなどでなんとか自分を保とうとする。それが呆ける。認知症になる、ということでもある。人は関係の中で生きています。お金ではなく、豊かな関係を持つことが、豊かに生きることにつながる、そう思います。（古民家介護そらいろデイ 石幡 亮）

二本松市のお墓のことなら

ミナト石材



お墓はただのモノではなく、人が生きた証。そして「心」だと私たちは考えます。御先祖様や亡き御家族を大切に供養したいと願うお客様のその「心」へ安心をお届けすること。それが私たちの使命です。

お墓に関する情報やお問い合わせはQRコードからHPをご覧ください。

石に^{いのち}を^{あづかる} 有限会社 ミナト石材

【住所】福島県二本松市
西勝田字柏木田182
【TEL】0243-55-3156



築110年の古民家で
のんびり ゆったり

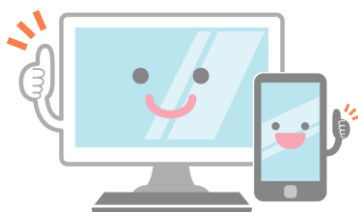
一緒に働いてみませんか
職員さん募集中

NPO法人そらいろ

桑折町伊達崎吉沼19
電話024-582-3558
ryo.isihata@gmail.com



インターネットを 活用しましょう！



＜ホームページ作成・運用＞

まだ作っていない
作っているけど生かしていない

＜Instagram等SNSをビジネスに＞

どのSNSを運用？
使い方がまだよく分からない
投稿を知ってもらうには？

お気軽に下記QRコードから
お問い合わせください

齋藤事務所

代表 ITコンサルタント
齋藤 慎也(桑折町)
https://saitoshinya.com

